

竹内街道・横大路（大道）1400年活性化プロジェクト通信（VOL.8）

第6回 太子聖燈会 ～竹内街道・横大路1400年記念事業～

太子町の叡福寺で、思い思いの願いが込められた1万燈の灯火が春を彩り、約1000人の参拝客が幻想的な風景に引き込まれました。

1. 1万燈の「和」のあかり 思いを灯す春の宵



聖徳太子の「和」の精神を尊び太子町の訪れる人々の幸せを願うあかりが、魅力あるまちづくりとまちの活性化につながってほしい。

そんな思いが込められた燈火。

叡福寺は、聖徳太子廟を守護するために、推古天皇により建立された香華所が起源と伝えられています。

たいしくんも燈火の前ではいポーズ！
多くの参拝客をお出迎え！

2. 竹内街道・横大路1400年！日本最古の官道！



今年は、日本最古の官道である「竹内街道・横大路」が敷設して1400年を迎え、それを記念した燈火の文字も描かれました。

3. 「竹内街道・横大路」1400年記念相撲甚句を披露



アアー 古代官道 甚句にとけば ヨーアー

日本最古の官道は竹内街道・横大路、難波と飛鳥を結ぶ大道、街道沿いの自治体が古代の大道からまちづくり、大阪・難波宮をスタートし、仁徳御陵の堺市と百舌鳥・古市 古墳群、松原・羽曳野 まち歩き近つ飛鳥の太子町、二上山の南麓は竹内街道 峠道、大和に入って葛城市、西に東に塔の峰、牡丹で名高い當麻寺、長尾街道 中継いで大和高田市・桜井市、飛鳥へ続く横大路、大和三山 藤原京、京に文化の華開く、歴史を繋

いで ヨーホホイ、アー 千四百年（アードスコイ ドスコイ） （けはや相撲甚句会（葛城市））

竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路（よこおおじ）は、「日本書紀」の推古天皇21年（613年）の条に「難波（なにわ）より京（飛鳥）に至る大道（おおじ）を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

「大道」が敷設されてから、平成25年（2013年）に1400年の節目を迎えることを契機として、府県を越えて大道沿線の10市町村（大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）と大阪府、奈良県の首長などが参集し、「竹内街道・横大路 難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」1400年活性化実行委員会」を発足して、連携しながら周辺地域の魅力を再発掘し、街道の魅力を高め、地域活性化等に繋げる取り組みを進めております。

文責：竹内街道・横大路（大道）1400年活性化実行委員会（問合せ：事務局（大阪府都市整備部事業管理室 TEL.06-6944-9269））